

森[®]を建てよう。 建築家が創るHOPデザイン。

四季の移ろいを感じる中庭を中心とした住まい 函館市 M邸

真に価値ある住まいとは、住まう人の美意識や人生観を形にしたもの。将来周辺の環境に左右されない様、M邸は中庭を生活の中心に取り込む設計としました。落ち着いた信楽焼と御影石の壁。道南杉の天井、ナラやタモなど北海道産の無垢材をふんだんに使用したこの家は、日本の伝統美を継承しつつ、現代を生きる家です。何百年と受け継がれてきた日本の文化のように、百年後も古びることなく、深みを増す家。HOPの家は実用性と美しさを兼ね備えた唯一無二の住まいを実現します。

美しい陰影を織りなすアプローチでもある小庭。
奥の和室のしつらえが、凍とした空気を醸し出す。

撮影 / 木田 勝久